

が		限	付	先	頻	意	断	旗	じ		改	た	量	勤				ン	
多	昨	ら	き	、	繁	喚	を	を	て	私	善	だ	が	で				バ	
く	今	な	事	将	に	起	誘	持	い	と	で	1	多	通				ー	
起	、	い	故	来	赤	を	導	っ	る	同	き	つ	い	っ				ワ	
き	日	な	の	に	信	し	し	た	の	じ	な	だ	し	て				ン	
て	本	い	な	渡	号	て	、	先	か	よ	い	け	、	い				の	
い	全	思	い	つ	に	い	目	生	、	だ	、	い	ま				安		
ま	国	い	全	て	な	ま	立	や	毎	ら	ろ	す	す	。い				全	
す	で	ま	道	の	っ	す	つ	保	朝	う	う	ご	多	っ				な	
。	通	し	路	安	て	。	プ	護	こ	か	く	危	い	て				歩	
ア	学	。	で	全	は	信	ラ	者	の	ー	危	な	の	い				道	
ク	路		あ	車	い	号	カ	の	横	ト	い	あ	に	感				に	
セ	で		り	が	ま	は	ー	方	断	等	思	い	信	じ				改	
ル	の		続	信	す	押	ド	が	歩	で	つ	ま	号	る				良	
と	痛		け	号	が	し	等	児	道	車	て	し	機	の				し	
ブ	ま		る	に	、	ボ	両	童	で	へ	い	は	は	が				たい	
レ	し		と	確	こ	タ	注	た	は		ま	な	交	一				。	
ー	い		は	実	れ	ン	横	ち	黄		し	ん	通	交					
キ	事		は	に	か	式		の	色		。	と	は	通					
の	故			気	ら	で		横	い			か							

このような歩道に資料①の写真のように、双	断防止・車両衝突の柵も設けられておらず、	しかし歩道は全幅が約2mと狭く、また横	ます。	が併設されており園児の通園にも使われている	があります。八坂小学校の隣には八坂幼稚園	バス停が2か所（八坂バス停と熊丸バス停）	が多く、バス路線でもあり、道路の前後には	（歩行者）、杵築駅の利用者（歩行者・自転車）	中学校の生徒（自転車）、八坂小学校の児童	この道路は杵築高校の生徒（自転車）、宗近	料①をご覧ください。	かを現地に出向き、調べてみました。まず資	まず、どの程度の交通量と人通りがあるの	た。	方法はどうかと日々、通勤時に考えていまし	の列への衝突。これらの不本意な事故を防ぐ	る車両の制御不能、悪意のある意図した児童	転、運転しながらのスマホ・電話、病気によ	踏み間違いやハンドルの操作の誤り、居眠り運
----------------------	----------------------	---------------------	-----	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------------------	----------------------	----------------------	------------	----------------------	---------------------	----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------

歩道空間についても幅員5m程度と広く確保	行者の安全を最大限確保することができま	児童の完全分離を図ることが可能になり、歩	教員等自動車での学校来訪者と歩行者である	西に70mほどいったところに設置すれば、	学校への車両乗り入れ箇所を現在の場所から	な延長を確保することが可能です。さらに、	が、周辺に住宅が密集していないため、十分	70m程度ずつの延長確保が必要となります	度になります。5%の勾配で計算すると前後	します。歩道との高低差は3・5mと4m程	ては勾配5%程度の坂道とし、歩道を上越し	状で通行できるようにしました。車道につい	ラット（坂道を設けない）バリアフリーの形	するようにし、歩行者・自転車についてはフ	ように計画しました。車道と歩道を立体交差	まず、歩行者と一般車両が平面交差しない				画は次のとおりです。資料③をご覧ください	以上の対応策を実現するための具体的な計
----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	--	--	--	----------------------	---------------------

保し、歩行者と自転車の通行レーンも分けて
衝突防止の措置をとることができればより安
全になると思います。

地域の交通安全意識が高く、住民が一丸と
なって交通事故防止に取り組んでいるからこ
そ、今よりも一層安全で住みやすく、安心し
て通学できる環境を整えたいと思っでご応募
させていたいただきました。

夢のような話を、本気でしよう。

現在の現場付近の交通状況

資料①

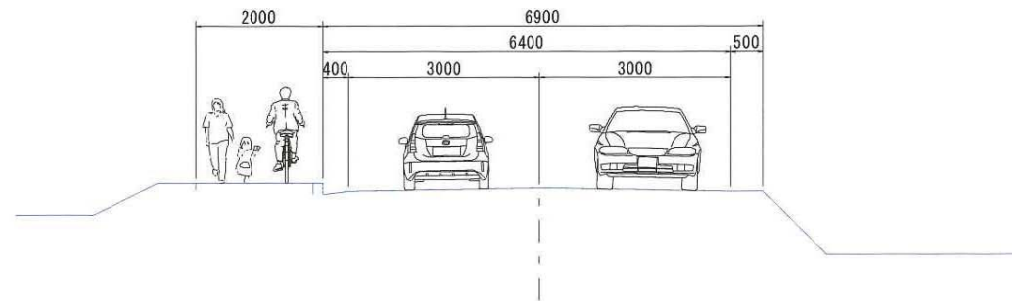


歩道は2mと狭い。自転車の通行が可能となっている。



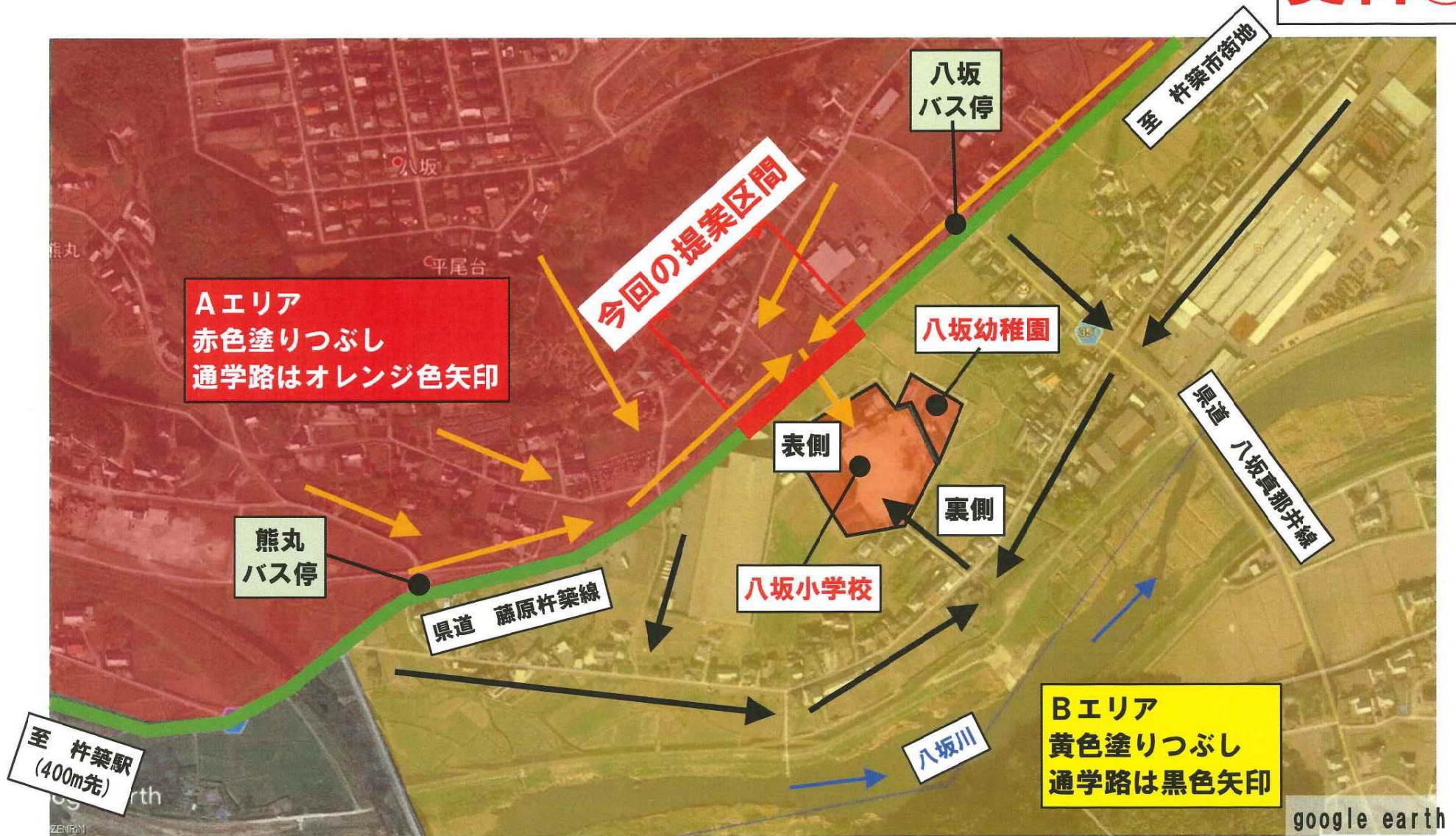
通勤・通学時間帯の車・歩行者・自転車の通行の様子。

現在の断面図



通学路の区域分け

資料②



杵築市八坂 藤原杵築線 八坂小学校前
 平面図 1/500

資料③



横断面 1/100
 No. 0

横断面 1/100
 No. 1

側面図 1/100

